

[第2部：実践編]

# 実演！衛生のプロによる 嘔吐処理の方法

引用：株式会社サラヤ  
「汚物処理マニュアルカード」より

# 汚物の処理はスピーディに！

速やかな処理を実施することが  
感染拡大防止のポイントです。



ウイルスの  
発生源を  
すばやく処理！

## 嘔吐物中のウイルス

10万～1億個/ml

## ふん便中のウイルス

1万～100億個/g  
不顕性感染者でも  
10～100万個/g排出

患者便1gで  
100万人に  
感染

ノロウイルスは、非常に強力な感染力を持つウイルスです。  
「すばやく」「適切」な処理が不可欠です。

# 汚物処理を行うための準備-1

## 準備物

### 処理に使用するもの

- 次亜塩素酸ナトリウム(1,000ppm以上に調整したもの 3L以上)
- ペットボトル(2L 2本) ● バケツ(2個 消毒用、水拭き用)
- ペーパータオル(5束) ● ポリ袋(2枚)
- 汚物回収用のヘラ(2枚1組を4セット)

### 処理担当者ご自身を汚染から守るためのもの(1人当たり)

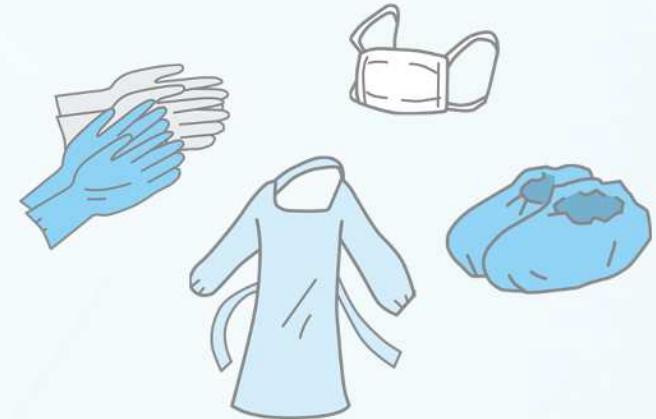
- エプロン／ガウン(1枚)
- マスク(1枚)
- ヘアキヤップ(1枚)
- 手袋(2枚重ね)
- シューズカバー(2枚重ね)

いずれも  
使い捨てのものが  
望ましい。

# 処理従事者の二次感染防止のために

1

必ずエプロンやマスク、手袋などの**感染防止用品**を着用する



2

処理従事者以外の  
**処理現場への接近禁止**



3

処理場所の**十分な換気**

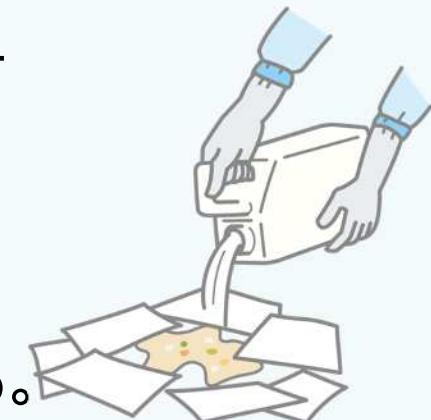


# **汚物の処理 手順**

# 汚物処理の手順-1

1

嘔吐物の周囲から1,000ppmの次亜塩素酸ナトリウムに浸したペーパータオルを敷き、  
次に嘔吐物上部にも被せ、更に1,000ppmの  
次亜塩素酸ナトリウムを飛び散らないようにかける。



2

厚紙などをヘラのように使用して、敷き詰め  
たペーパータオルを周囲から内側に向かつ  
て静かにかにすくい取り、1次回収袋に入  
れる。



## 汚物処理の手順-2

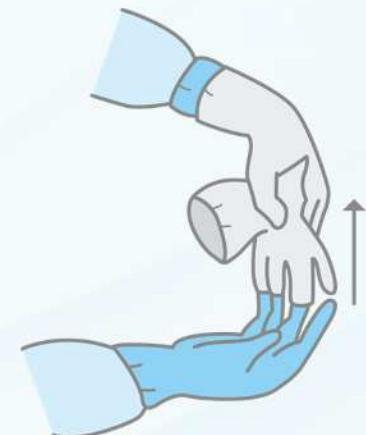
3

すくいきったら使用したヘラ、外側のシューズカバーと手袋をはずし、1次回収袋に入れて、1000ppmの次亜塩素酸ナトリウムを浸る程度にかける。



4

口を固く一本結びで閉じて2次回収袋に入れる。



## 汚物処理の手順-3

5

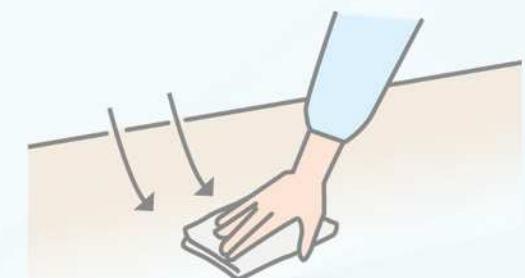
汚物を取り除いた床面を、1000ppm次亜塩素酸ナトリウム溶液で浸したペーパータオルで覆い、ペーパータオルが十分濡れるようさらに上から同じ溶液を注ぐ。



約10分後、別のヘラを使用しすくい取って  
2次回収袋に入れる。

6

さらに、1,000ppm次亜塩素酸ナトリウム溶液に浸したペーパータオルで拭き取り、その後、水拭きをする。拭き取ったペーパータオルは2次回収袋に入れる。

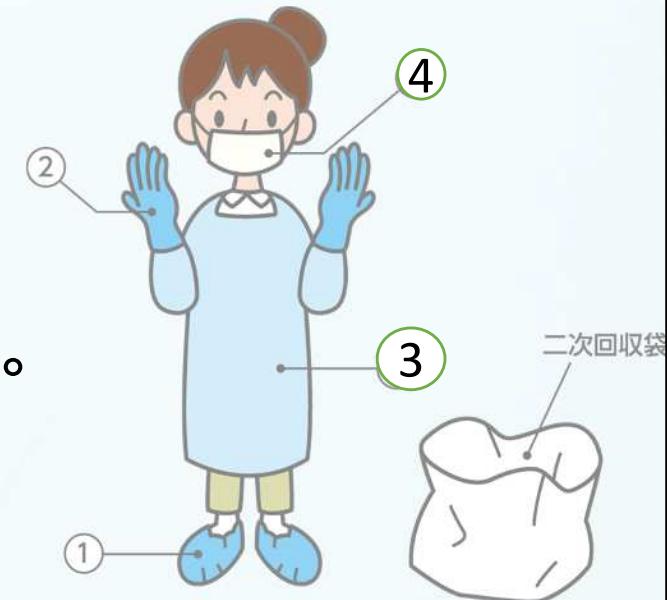


※内側に集めるように一方向に拭きとる。

# 汚物処理の手順-4

7

出入口マットに立ち、シューズカバー→マット→手袋→エプロン→キャップ→マスクの順に外し、2次回収袋に入れる。袋の内側を触らないように口を固く結んで閉じる。



8

処理従事者はしっかり衛生手洗いとうがいをする。



# ノロウイルス対策のまとめ

1

店内・事業所でスタッフ全員参加の勉強会を開催し、知識を深めておきましょう。

2

店内・事業所で繰り返し啓発を行い、スタッフ一人ひとりの意識を高めていきましょう。

3

ノロウイルスの感染が疑われるスタッフは、すぐに業務から離れるように指示しましょう。

## 汚物処理の手順-4

(床面消毒の10分間の間)

周囲に1,000ppm次亜塩素酸ナトリウム液を  
浸したペーパータオルを下から隙間のないように  
貼り付け、10分程度おき、ヘラですくってペー  
バータオルは2次回収袋に入れる。

さらに次亜塩素酸ナトリウム溶液で下に向かつ  
て拭き取り、その後ペーパータオルで水拭きし、  
2次回収袋に入れる。

